

同窓会から卒業生のみなさんへ

二年間の、ぎっしりと詰まった思い出を抱えての卒業です。

心からお喜び申し上げます。

専門的な技術と経営の知識を習得する課程では、農業経営や農村振興に対するセンスや感性が磨かれたことと思います。

一人ひとりが、自らの目標をしっかりと絞り込んで、実践力、現場力を重視するこの学校の運営方針は、自主性や自律性を育てることを大きな目標としています。

人生もっとも多感な時ならではの悩みと葛藤のなかから、自分の目指すものに確信を持つことができ、今日を迎えられたことに心から御祝いを申し上げます。

もう一つは、伝統的な全寮制という環境での生活を経験されたことでもあります。

自治運営のもとでの協同であります。お互いに刺激しあった寮生活は、生涯の友人を育み、長い人生のなかで、もっとも強烈でかけがえのない印象として心に留まったことでしょう。

大きな壁に遭遇したとき、足踏みをしているとき、必ずや勇気をもらえるでしょう。

この寮生活は、後輩に連綿と繋いでいってほしい大事な空間の一つです。

我が農業大学校は、時代の要請に応えるべく改革に挑戦されております。教室で、ほ場で、そして自啓寮でと、ハードとソフト両面で環境が整えられて、改革にチャレンジする先生たちの下で過ごすことができました。

この二カ年で、一人の社会人としても、大きく成長されたことと思います。

進路は、就農、関連組織・企業に就職と様々ですが、一人ひとりが柔軟で創造性があるチャレンジをされて、農大卒業生として磨きがかかり地域に貢献されることを期待しております。

「土塊百年緑永遠」、今日から仲間です。同窓会員です。心から歓迎します。

結びに、みなさんの弥栄をお祈りし、校長先生をはじめ職員のみなさん、現地・現場からサポートいただいた関係者のみなさんに敬意と感謝を申し上げます。

平成 29 年 3 月 吉日

長野県農業大学校同窓会長

小松正俊